



平成27年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年12月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アイル
 コード番号 3854 URL <http://www.ill.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 哲夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 戸田 泰裕 TEL 06-4798-1170
 四半期報告書提出予定日 平成26年12月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年7月期第1四半期の連結業績（平成26年8月1日～平成26年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年7月期第1四半期	1,639	19.3	38	△6.8	41	△6.0	20	△2.2
26年7月期第1四半期	1,373	4.2	41	20.4	44	22.5	20	△19.7

(注) 包括利益 27年7月期第1四半期 25百万円 (23.1%) 26年7月期第1四半期 20百万円 (△24.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年7月期第1四半期	3.26	3.25
26年7月期第1四半期	3.66	3.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年7月期第1四半期	3,311	1,714	51.7
26年7月期	3,494	1,801	51.5

(参考) 自己資本 27年7月期第1四半期 1,713百万円 26年7月期 1,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年7月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年7月期	—	—	—	—	—
27年7月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年7月期の連結業績予想（平成26年8月1日～平成27年7月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,396	17.3	171	7.7	180	9.5	105	41.5	16.84
通期	7,800	14.9	700	14.4	718	14.6	450	27.5	72.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年7月期1Q	6,249,000株	26年7月期	6,235,000株
② 期末自己株式数	27年7月期1Q	286株	26年7月期	286株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年7月期1Q	6,240,887株	26年7月期1Q	5,690,714株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年8月1日～平成26年10月31日)におけるわが国経済は、消費税率上げによる駆け込み需要の反動も落ち着きつつあり、個人の消費や企業の設備投資につきましても増加傾向にあり、景気動向につきましても、緩やかではありますが回復基調となっております。

当社グループが属する情報サービス業界は、今年3月の消費税増税に伴う駆け込み需要やWindows XPの買い替え需要等の反動はあったものの、ソフトウェア投資につきましても、緩やかに増加傾向にありますが、ソフトウェアに対する投資目的は、従来の業務効率の改善はもちろんのこと、販売力及び競争力強化を含めた、企業業績の向上を実現する付加価値の高い提案が一層求められております。

このような状況のもと、当社グループは、ITの有効活用が必要な中堅・中小企業顧客の経営課題を解決するための商材を「リアル」と「Web」の両面から開発・提案し、顧客の企業力強化を図ることを「CROSS-OVER シナジー」戦略とし取り組んでまいりました。この戦略効果により、当社グループが重要視するストック型ビジネス商材の販売実績が大きく伸長し、利益体質の強化が図られております。

「リアル」面におきましては、主力のパッケージソフトウェア「アラジンオフィス」の商品力の強化を、業種別に継続して進めました。販売面でもパートナー企業との連携に加え、東京、大阪、名古屋において「アラジンオフィス」の業種別セミナー及び展示会を開催しました。豊富な業種別の導入事例をもとに顧客毎に最適なシステム活用方法をご提案させていただくことで、販売実績も順調に推移しました。

「Web」面におきましては、複数ネットショップ一元管理ソフト「CROSS MALL」と新たなショッピングモールとの連携開発につきましても継続して取り組んでおり、当四半期は、ジオシス合同会社が運営するインターネットショッピングモール「Qoo10」に対応することになりました。また、既存の顧客から機能面における要望を収集し、迅速に新機能として反映させることで商品力が向上し、実績面でも貢献しました。その他、ネットショップと実店舗のポイント・顧客一元管理ソフト「CROSS POINT」は、低コストでネットショップと実店舗のポイント・顧客の一元化と購買履歴の把握を可能にし、スマートフォンをポイントカードとして利用できる機能等を開発したことも評価され、前期より継続して販売実績を伸ばしました。

また、当社グループが提唱してきた「CROSS-OVER シナジー」戦略は、「リアル」と「Web」それぞれの商材を複合的に提案することで、顧客の業務効率と販売力強化を実現するものであり、当社グループにとっても商談時の競合力を強化するだけでなく、顧客満足度も向上させる独自の提案スタイルとして更に強化してまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高1,639,171千円(前年同期比19.3%増)、営業利益38,242千円(前年同期比6.8%減)、経常利益41,746千円(前年同期比6.0%減)、四半期純利益20,342千円(前年同期比2.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べて183,171千円減少し、3,311,243千円となりました。その減少の主な内容は、仕掛品64,283千円等が増加したものの、現金及び預金11,958千円、受取手形及び売掛金255,256千円、商品27,458千円等が減少したことによります。

また、負債合計は、前連結会計年度末と比べて96,197千円減少し、1,596,994千円となりました。その減少の主な内容は、買掛金22,598千円、賞与引当金56,000千円、退職給付に係る負債48,074千円等が増加したものの、未払法人税等181,064千円、長期借入金10,000千円等が減少したことによります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて86,974千円減少し、1,714,249千円となっております。その減少の主な内容は、四半期純利益20,342千円等による増加があるものの、剰余金の配当93,520千円、改正退職給付会計基準の適用に伴う利益剰余金の減少22,283千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね当社グループの予想範囲内にて推移しており、平成27年7月期通期業績予想につきましても、変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
重要な子会社の異動はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が34,601千円増加し、利益剰余金が22,283千円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,144,362	1,132,404
受取手形及び売掛金	925,416	670,159
商品	105,872	78,414
仕掛品	329,588	393,871
その他	114,890	127,792
貸倒引当金	△4,628	△4,822
流動資産合計	2,615,502	2,397,819
固定資産		
有形固定資産	82,314	81,669
無形固定資産		
のれん	56,650	49,568
その他	392,188	414,200
無形固定資産合計	448,838	463,769
投資その他の資産		
その他	351,787	380,491
貸倒引当金	△4,027	△12,506
投資その他の資産合計	347,760	367,984
固定資産合計	878,913	913,424
資産合計	3,494,415	3,311,243
負債の部		
流動負債		
買掛金	258,705	281,304
1年内返済予定の長期借入金	40,000	40,000
未払法人税等	210,077	29,012
賞与引当金	51,200	107,200
製品保証引当金	15,536	19,083
その他	638,048	593,712
流動負債合計	1,213,567	1,070,311
固定負債		
長期借入金	40,000	30,000
退職給付に係る負債	403,462	451,537
役員退職慰労引当金	25,643	34,624
その他	10,517	10,519
固定負債合計	479,624	526,682
負債合計	1,693,191	1,596,994

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,585	352,786
資本剰余金	315,585	317,786
利益剰余金	1,178,371	1,082,909
自己株式	△78	△78
株主資本合計	1,844,464	1,753,405
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△45,437	△40,170
その他の包括利益累計額合計	△45,437	△40,170
新株予約権	2,197	1,014
純資産合計	1,801,223	1,714,249
負債純資産合計	3,494,415	3,311,243

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成25年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成26年10月31日)
売上高	1,373,700	1,639,171
売上原価	825,721	1,017,114
売上総利益	547,978	622,056
販売費及び一般管理費	506,954	583,814
営業利益	41,023	38,242
営業外収益		
受取手数料	2,910	3,517
その他	927	476
営業外収益合計	3,838	3,994
営業外費用		
支払利息	453	484
その他	—	5
営業外費用合計	453	489
経常利益	44,408	41,746
特別損失		
固定資産除却損	39	—
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	—	25
特別損失合計	39	25
税金等調整前四半期純利益	44,368	41,721
法人税、住民税及び事業税	35,667	26,424
法人税等調整額	△12,097	△5,044
法人税等合計	23,570	21,379
少数株主損益調整前四半期純利益	20,798	20,342
四半期純利益	20,798	20,342

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成25年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成26年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	20,798	20,342
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	—	5,267
その他の包括利益合計	—	5,267
四半期包括利益	20,798	25,609
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,798	25,609
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。